

reference 1)

97832

Application Date: July 15, 1931

Priority: September 1, 1930 (Germany)

*1.09.1930*

Publication Date: July 11, 1932

Patent Date: October 14, 1932

Inventor: Walter Gustav Noak (phonetical)

Applicant: AG Brown Boveri & Co..

特許第九七八三三號

〔昭和七年公告第二七四九號〕

第十二類 二、爐及爐格

第九類 六、旋回内燃機關及  
内燃タービン

第十四類 一一、蒸汽發生器類

出願、昭和六年七月十五日  
西曆千九百三十年九月一日優  
先權主張（獨國出願）  
公告、昭和七年七月十一日  
特許、昭和七年十月十四日

（昭和七年十一月十六日發行）

明細書

耐壓燃燒室

發明ノ性質及目的ノ要領

本發明ハ燃燒室ノ壁ハ螺旋形ニ捲付ケラレタル若クハ耐壓飯套ノ内側ニ装着セル管列ニヨリテ形成セラレ平滑ナル表面ヲ得ル爲メニソ  
ノ内側ヲ鍛接シタルコトヲ特徵トスル高壓ヲ受クル冷却物ニヨリ冷却セラルル瓦斯「タービン」蒸汽發生機等ノ耐壓燃燒室ニ係リソノ目  
的トスル所ハ完全ナル密閉ト平滑ナル表面トヲ有スル耐壓燃燒室ヲ容易ニ築造セントスルニアリ

圖面ノ略解

添附圖面ハ本發明ノ各種實施例ヲ示スモノナリ

發明ノ詳細ナル説明

加壓燃燒裝置ヲ有スル瓦斯「タービン」若クハ蒸汽發生機ノ燃燒室ハ高度ノ内部壓力ニ對抗スルカ如ク築造セラレ耐壓的ナラサルヘカラ

瑞西國バーデン、リュツタイストラーセ、十二番地  
發明者 フルター、グスタフ、ノア

特許權者

アクチエンゲゼルシャフト、  
ブラウン、ホペリーウインド、コ  
ンバー、

代理人 辨理士

飯塚 半衛

ニ保タシムルノ用ヲナス必要ナル場合ニハ「ボート」ニ穿孔ヲ作り或ハ管ニテ取圍ミテ管内ト同溫度ノ液體ヲ通セシム  
第五圖及第六圖ノ如ク燃燒室軸ニ平行ニ管ヲ取付クル場合ニハ壁ノ遠心抗張力ハ主トシテ管ヲ密接ニ取付ケタル「シリンドー」ニ保有  
セラル管ハ⑧ニ於テ鍛接セラルルニ先チ數箇所ニ於テ例ヘハ⑨ニ於テ壁ニ固着セラレ以テ壁トノ良好ナル閉鎖ヲ實現ス此ノ壁ハ又底部  
及ヒ蓋ノ壓力ニモ對抗ス此ノ壓力ハ「シリンドー」壁ニ於ケル遠心抗張力ヨリ單ニソノ半分位ノ橫斷面ヲ必要トスルノミナルヲ以テ但  
シ遠心抗張力ハ少クモ一部分ハ鍛接ニヨリテ收容セラル管ヲ有スル「シリンドー」壁ハ普通ノ圓筒形燃燒室壁ヨリ著シク輕量トナスコ  
トラ得「シリンドー」壁ノ代リニ此處ニ於テハ底部及蓋ニ於ケル力ヲ受容スル爲「ステー、ボート」ヲ使用シ又遠心抗張力ニハ例ヘハ各個  
ノ強固ナル環輪ニヨリテ代ラシムルコトラ得ヘシ

圓筒形管ノ代リニ特殊斷面形ヲ有スル管ヲ使用スルコトラ得「バツキング」⑩(第五圖)カ突縁内ニ於テ各二個ノ管ノ間隔ヲ廣ク保持シテ  
管及ヒ鍛接接合ノ數ヲ節減スル爲ニハ圓筒形管ヲ第七圖第八圖ニ示ス如ク橢圓形ニ押壓セシムルコトラ得圓筒形管ノ圓形ハ突縁ノ内部  
ニ於テノミ其原形ヲ保留ス(第八圖)⑪管ハ又容易ニ圓筒形ニ作り變ヘ得ルカ如キ不等四邊形(第九圖)若クハ直角四邊形(第十圖)トナス  
コトラ得管ノ橫斷面ハ其ノ角ヲ大ナル圓形トナシ若クハ斜面ヲ有セシメ以テ多量ノ鍛接物ヲ充填スルニ充分ナル場所ヲ作ルヘシ  
多クノ場合ニ灼熱シ得ヘキ「シリンドー」内側面ハ凹凸無キコトラ要スルカ故ニ鍛接部ヲ金剛砂研磨盤ヲ以テ研磨ス

#### 特許請求ノ範圍

本文記載ノ目的ニ於テ本文ニ詳説シ添附圖面ニ明示セル如ク燃燒室ノ壁ハ螺旋形ニ捲付ケラレタル若クハ耐壓鐵套ノ内側ニ装着セル管  
列ニヨリテ形成セラレ平滑ナル表面ヲ得ル爲メニソノ内側ヲ鍛接シタルコトラ特徴トスル高壓ヲ受クル冷却物ニヨリ冷却セラルル瓦斯  
「タービン」蒸汽發生機等ノ耐壓燃燒室

#### 附 記

- 一 鍛接接合部ハ圓形或ハ特殊斷面形ヲ有スル針金等ノ挿入物ニヨリテ部分的ニ填充セラルル特許請求範圍記載ノ耐壓燃燒室
- 二 管ハ圓筒形トハ異ル形(例ヘハ角ヲ甚シク圓メタル直角四邊形或ハ不等四邊形)ヲ有シ燃燒室築造並ニ管ノ鍛接ヲ容易ナラシメタル  
特許請求範圍並附記一記載ノ耐壓燃燒室